

2021年9月30日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、100%リサイクルの発泡性ポリスチレンビーズ「エプスレム」を使用した「ソイレンマットER」を開発しました。

## リサイクル原料を100%使用した屋上緑化資材を開発

### 1. 開発の背景

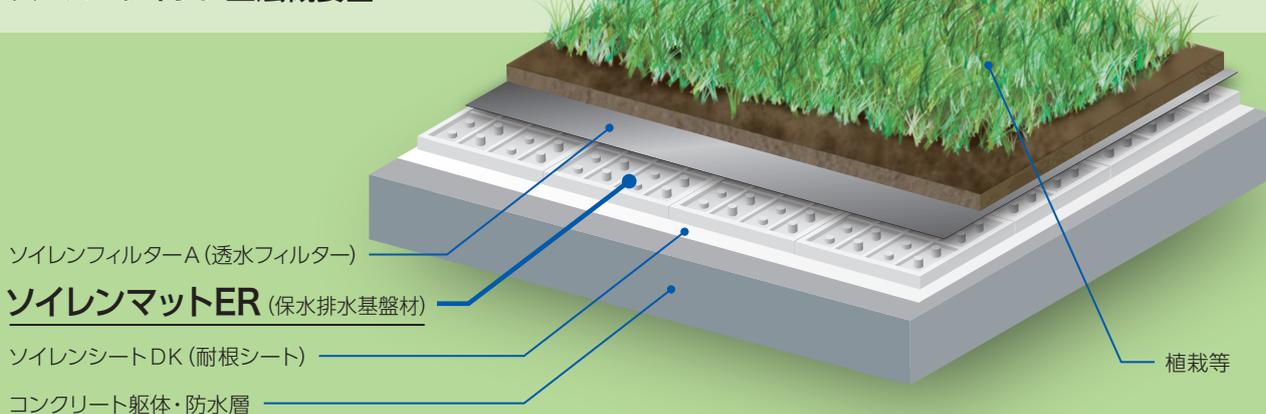
軽量緑化システム「スーパーソイレン工法」は、都市部の景観づくりだけでなく、断熱効果による省エネ対策やヒートアイランド緩和の役割を期待され、商業施設やオフィスビルの屋上庭園などに採用されています。「ソイレンマット」は、「スーパーソイレン工法」の構成材のひとつである保水排水基盤材です。

この度、環境保全に配慮した製品を求める市場ニーズを踏まえ、難燃性のリサイクル原料を100%使用した「ソイレンマットER」を新たに開発しました。

### 2. 特長

難燃性のリサイクル原料「エプスレム」を使用した環境負荷の小さい製品です。従来品と比較して、生産時（ビーズ生産から発泡成形まで）におけるCO<sub>2</sub>排出量を21%削減しました。

#### スーパーソイレン工法概要図



### 3. 今後の展開

積水化成品グループは、環境と共生するモノづくりを原点とし「環境リーディングカンパニー」を目指し、従来から注力している3R活動(Reduce、Reuse、Recycle)に加え、2R(Replace、Re-create)を含んだ「SKG-5R」を推進しています。「スーパーソイレン ER」は、この中の「Recycle」における開発のひとつであり、限りある資源を有効活用するだけでなく、生産時のCO<sub>2</sub>削減にも取り組んでいます。この開発にとどまらず、私たちは事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上